

第9期山県市高齢者福祉計画

基本理念 みんなでつくる 安心してくらせるまち

介護保険制度を取り巻く状況と求められる視点

医療介護双方のニーズを有する要介護高齢者の増加

- 約20年後に人口が35%減(2025年:2.3万人→2065:1.5万人)
- 医療介護双方のニーズを有する要介護高齢者の増加→介護保険システムにこれまで以上の負荷がかかる
- 生産年齢人口が急減(→介護人材不足へ)

「地域共生社会」の実現に向けた更なる検討

- 地域共生社会を実現するために、地域包括ケアシステムを基盤として、各種施策を展開してきたが、生産年齢人口を含めた人口の急減を見据えて、介護予防・日常生活支援総合事業等を活用しながら、より少ない資源でより効率よく支え合える仕組みづくりを検討していく必要がある。

人口動態を見据えた介護サービス量の検討

- 中長期的な人口動態を見据えて、山県市における介護サービスのあるべき姿、提供すべきサービス量について、行政、関係団体、介護サービス事業者がともに検討し見出していく必要がある。
- 地域が疎になっていく中で、健康づくり・介護予防を推進していくとともに、地域における介護ニーズにマッチしたサービスを効率よく地域の中で展開していく必要がある。

介護人材不足を補う仕組みづくりの検討

- 若い世代の担い手の確保や、外国人の受入れ、介護・リハビリ専門職の育成に限界がある中でも、介護人材の確保・育成には積極的に取り組んでいくとともに、山県市における介護システムを維持していくために必要な仕組みづくりが求められる。

介護保険制度・サービス内容の認知度の向上

- 地域包括支援センターの窓口業務の強化、認知症対策を精力的に推進していても、市民に対する認知度が低く、制度や取組みにつながらないケースがあり、介護保険制度にかかる周知・啓発が強く求められる。

基本目標Ⅰ 健康づくり・介護予防を総合的に推進します

：第9期計画における重点施策

- 【施策の方向性1】健康づくりの推進**
健康ポイント事業、すこやか健診、保健指導・重症化予防対策、個別の通知や集いの場での受診勧奨、保健事業と介護予防の一体的実施等
- 【施策の方向性2】生きがいつくりの推進**
高齢者の健康増進の場の提供、高齢者が活躍できる場の周知等
- 【施策の方向性3】介護予防の推進**
通いの場への参加促進、専門職によるフレイル予防活動の推進等

目標指標	現状	目標
■後期高齢者健康診査受診率	[R4] 12.4%	[2022 (R7)] 20%以上
■結核・肺がん検診受診率	[R4] 6.8%	[2022 (R7)] 40%以上
■さわやか口腔健診受診率	[R4] 13.2%	[2022 (R7)] 20%以上
■予防事業参加者数(年間延人数)	[R4] 8,174人	[2022 (R7)] 9,000人
■介護予防サポーター人数	[R4] 9人	[2022 (R7)] 12人

基本目標Ⅱ 地域包括ケアシステムを強化・推進します

- 【施策の方向性1】保険者の機能強化**
ケアマネジメントの質の向上、多職種連携による地域ケア会議の活性化等
- 【施策の方向性2】地域包括支援センターの円滑な運営と体制の強化**
地域包括支援センターの役割周知、高齢者虐待防止ネットワークの構築等
- 【施策の方向性3】介護予防・日常生活支援総合事業の推進**
地域の実情に合わせたサービスの創設、生活支援コーディネーターの活動推進等
- 【施策の方向性4】介護保険制度の適正運用**
事業者に対する指導・助言、要介護認定の適正化(認定調査状況チェック)等
- 【施策の方向性5】医療・介護・福祉の連携強化**
スムーズな在宅療養への移行、在宅医療介護連携推進協議会の活動推進等
- 【施策の方向性6】生活支援サービスの推進**
配食サービス事業の推進、緊急通報システム設置事業の推進等
- 【施策の方向性7】高齢者の移動支援**
外出支援サービス事業の継続実施、互助による輸送の検討
- 【施策の方向性8】ニーズに応じた住環境の整備**
サービス付き高齢者向け住宅等の情報提供
- 【施策の方向性9】成年後見制度の周知と適切な利用の促進**
成年後見制度利用支援事業の実施、日常生活自立支援事業との連携等

■地域ケア会議開催回数	[R4] 15件	[2022 (R7)] 20件
■地域包括支援センター相談件数	[R4] 1,736件	[2022 (R7)] 1,915件
■訪問型サービスA利用回数	[R4] 1,030回	[2022 (R7)] 1,255回
■個別ケアプラン点検	[R4] 4回	[2022 (R7)] 5回
■スーパービジョン研修	[R4] 4回	[2022 (R7)] 5回
■介護予防のための地域ケア会議	[R4] 4回	[2022 (R7)] 5回
■在宅医療・介護連携研修会開催回数	[R4] 0回	[2022 (R7)] 2回
■配食サービス利用数(年間延食数)	[R4] 16,971食	[2022 (R7)] 20,000食
■緊急通報システム設置台数	[R4] 257台	[2022 (R7)] 280台
■個別避難計画の作成数	[R4] -	[2022 (R7)] 1,000件
■外出支援の利用回数(延回数)	[R4] 172回	[2022 (R7)] 250回
■成年後見制度相談件数	[R4] 14件	[2022 (R7)] 20件

基本目標Ⅲ 認知症施策を総合的に推進します

- 【施策の方向性1】認知症に対する正しい理解の促進**
出前講座等を通じた認知症の正しい理解の促進、相談窓口の周知等
- 【施策の方向性2】認知症予防活動の推進**
通いの場における認知症予防講座等の実施、通いの場における健康相談等の実施等
- 【施策の方向性3】医療・介護サービス提供体制の強化と介護者への支援**
認知症初期集中支援チームの活動推進、認知症地域支援推進員の配置等
- 【施策の方向性4】認知症バリアフリー化の推進**
チームオレンジの整備、みまもりボランティアによる訪問活動等

■認知症サポーター延人数	[R4] 2,068人	[2022 (R7)] 2,500人
■見守りボランティアの訪問回数	[R4] 218回	[2022 (R7)] 250回

基本目標Ⅳ 地域における支え合い活動を推進します

- 【施策の方向性1】地域における見守り機能の強化**
みまもりボランティアの育成、見守りを兼ねたサービスや活動の推進等
- 【施策の方向性2】支え合い活動の推進と支え合い精神の醸成**
福祉教育の推進、支え合い・生きがい・居場所・健康づくりの推進等

■ボランティア養成講座参加者数	[R4] 0人	[2022 (R7)] 10人
■地域見守りネットワーク事業加入団体数	[R4] 38事業所	[2022 (R7)] 45事業所
■ボランティア登録人数	[R4] 1,956人	[2022 (R7)] 2,000人

基本目標Ⅴ 介護人材の確保と育成を推進します

- 【施策の方向性1】介護人材の確保**
介護の担い手の育成、職場復帰の支援
- 【施策の方向性2】サービス事業者の運営支援**
介護サービス事業者の業務の効率化等

■介護職員の定員充足率	[R4] 100%	[2022 (R7)] 100%
-------------	-----------	------------------

介護保険料基準額

第9期における介護保険料基準額 **5,800円**

※ 山県市の人口推計や第9期における施策の実施状況を勘案し、地域包括ケア「見える化」システムにより推計

